

科目名	臨床心理学	担当教員	小山充道 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-------	------	--------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	専門基礎科目	必修	2年次	前期	2単位	講義

科目概要	過去心の深層に人はどのように関わってきたのか。臨床研究法、人格理論、心理査定、心理的援助に関わる倫理事項を学んだ後、心理療法に焦点を当て、精神分析、分析心理学、人間主義的アプローチ、認知行動的アプローチ、家族療法等の実際を講義および体験学習を介在させ展開する。自閉症、てんかん、知的障害、肢体不自由、脳外傷、脳血管障害、認知症等、リハビリテーションに関わる臨床事例を絡ませ、心の援助のありようについて受講生と共に考え、人間そのものについての理解を深めていく。講義にあたっては視聴覚素材を多用し、当事者の生の声を聴く。抱く思いの内容をありのままとらえることで、心の理解を深めていく。家族支援にも重きを置き、現状の把握と援助者の課題について探求する。
学習目標	本講では心理的援助領域において役立つと思われる臨床テーマについて概観する。作業および理学療法士を目指す学生が対象であることを考慮し、主にリハビリテーション領域における心理臨床の視点から、病める人の心のとらえかた、つまり病者と絡む臨床人格理論を基盤としながら、病理的人格反応の問題、リハビリテーションカウンセリングの実践的展開を行う。受講生は心理臨床諸理論と心理療法技術を身につける。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	臨床心理学の歴史と発展・課題	心理臨床の社会的要請と、錯綜とした発達の心理的危機の諸相	臨床心理学の歴史と発展について、社会的変化との関連から学ぶ	
2	精神分析	無意識の発見と深層心理	個人的無意識の世界を、病む人との関連で学ぶ	
3	分析心理学	ユングの生涯と無意識領域の探求	普遍的無意識の世界を、病む人との関連で学ぶ	
4	来談者中心療法	カールロジャーズとカウンセリング	対話の背景にある思いの理解と対話技術修得	
5	発達の危機	生涯発達理論とエリクソンからの学び	発達段階および発達課題と、偶発的発達危機の様相の理解	
6	不安障害	適応障害、パニック障害、強迫障害、恐怖症等の心理的障害の理解	広範な神経症症状の理解。事例による症状理解	
7	統合失調症	統合失調症理解に役立つ理論と治療的方策	統合失調症を示す人の心の理解	
8	前半の補足とまとめ+中間総括	学生からの質問に答え、前半の講義の補足を行った後、中間総括を行う。	前半の講義内容の完全修得を図る	
9	自閉症スペクトラム	自閉症および ADHD の心の世界	事例をもとに成因および治療的方策について探る	
10	脳器質性障害 I	乳児～児童の脳の成熟と病気・障害との関連の理解	後天性の脳障害児事例をもとに心の理解を図る	
11	脳器質性障害 II	心と脳の結びつきをテーマに、神経心理学的立場と臨床心理学からの理解を深める	後天性の脳障害者事例をもとに心の理解を図る	
12	心理アセスメント I	代表的な心理尺度と臨床応用	心理尺度を体験し、事例への応用の手掛かりをつかむ	
13	心理アセスメント II	代表的な神経心理検査と臨床応用	代表的な知能検査、認知検査、神経心理検査等を学ぶ	
14	心理アセスメント III	投映法検査を学ぶ	ロールシャッハテスト・TAT・SCT 等、臨床でよく用いられる心理検査について学ぶ	

15	後半の補足とまとめ	学生からの質問に応え、全講義を通した補足を行う。	疑問点の解消と発展的な展望をもつ	
	評価方法	前半7回後に実施する中間総括(40%)と最終試験(40%)、講義への関与度(20%)で評価を行う。		
	教科図書	教科書は用いない。各回、関連資料を配布し授業を行う。		
	参考図書	日本心理臨床学会編「心理臨床学事典」丸善出版ほか。講義時に随時関連文献を紹介する。		
	学習の準備	講義を受ける前に、講義と関連ある論文または書物を1冊読み、問題意識をもって講義に臨む。		
	オフィスアワー	小山研究室の掲示板を確認すること。		
	担当教員欄に※印を附した教員の実務経験			